

官中秘策

三

9

73

2537

3



官中秘策卷十一

西村 元文叔 集

南村人の後述一方法

一 書法秘傳 亦姓記 西書院書 大書院 氏書 西右筆 新書

秀乃中書之辨 西信書 西先子 大書院 大書院

西小細

大書院 西書院 伏見寺 西書院 西書院 大書院 大書院 西書院

一 一代 西書院 西書院 西書院 西書院 西書院 西書院

西書院 西書院 西書院 西書院 西書院 西書院

一 右書院 西書院 西書院 西書院 西書院 西書院

二 凡 西書院

一 氏書院 西書院 西書院 西書院 西書院 西書院



一 細くする。 細く 大なる形高

一 形高。 切る形 高き 細く 豊上清の 降り小高

一 大なる。 切る形 又高き 細く 小高き

一 日本高き。 廣同高き 切る形 細く

一 切る形。 細く 降る

一 大事揃人。 中奥高き 又高き 大清高 大高き

一 小高き。 細く 降る 降る 細く

一 小十人。 二九つ高き

一 一ノ高き。 二九つ高き 降る 二九つ高き

一 一ノ高き。 降る 小十人 降る

一 一ノ高き。 降る 小十人 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る

一 一ノ高き。 降る 降る 降る 降る



一 佐渡守のふ布衣、豊後守の長崎守の如丸為屋、小笠原  
守の一代の善法

一 甲府御方為能、法衣、大目付、小笠原為屋、山形

一 長崎守の法衣、島田守の如丸為屋、豊後

一 京町守の町守、作守、豊後守、法衣

一 大板町守の法衣、豊後守、長崎守、小笠原守

一 長崎守の法衣、豊後守、新島、先子

一 使番の布衣、目付、小笠原守、新島、先子

一 禁裡守の法衣、大目付、先子、如丸

一 河守の法衣、大目付、如丸

一 小笠原守の法衣、大目付、如丸、一代の善法

一 小笠原守の法衣、大目付、町守、法衣

一 小笠原守の法衣、町守、作守、豊後守

一 伏見守の法衣、寺社守、如丸

一 陸河守の法衣、例元、如丸、如丸

一 小笠原守の法衣、大目付、如丸、例元、如丸

一 小笠原守の法衣、大目付、如丸、如丸、如丸

一 小笠原守の法衣、大目付、如丸、如丸、如丸

一 大目付の法衣、如丸、如丸、如丸

小笠原





百石の目録、以年台 上意也  
一、百石の目録、以年台 上意也  
一、百石の目録、以年台 上意也  
一、百石の目録、以年台 上意也

一、

一、諸大名、奉勅、以年台 上意也  
一、諸大名、奉勅、以年台 上意也  
一、諸大名、奉勅、以年台 上意也  
一、諸大名、奉勅、以年台 上意也

一、諸大名、奉勅、以年台 上意也

一、諸大名、奉勅、以年台 上意也  
一、諸大名、奉勅、以年台 上意也  
一、諸大名、奉勅、以年台 上意也  
一、諸大名、奉勅、以年台 上意也



天下知卿所事也 一云 抄云云 云云 云云 云云 云云 云云 云云 云云 云云

將軍宣下之事

有徳御極

一市見了上院御極 御見之口緒 云云 御

一市見了上院御極 御見之口緒 云云 御 御見了上院御極 御見之口緒 云云 御

一市見了上院御極 御見之口緒 云云 御 御見了上院御極 御見之口緒 云云 御

一市見了上院御極 御見之口緒 云云 御 御見了上院御極 御見之口緒 云云 御

一市見了上院御極 御見之口緒 云云 御 御見了上院御極 御見之口緒 云云 御

一市見了上院御極 御見之口緒 云云 御 御見了上院御極 御見之口緒 云云 御

一市見了上院御極 御見之口緒 云云 御 御見了上院御極 御見之口緒 云云 御

和信清國下信之稱也云云

一神使德大寺在大庭口重初 治中使東國云云 女院使

一園守云右云云 云云 云云 云云

一告使山科出堂曾於庭上句 云云 云云 云云 云云

一宣旨賢翁入副使者本位後先云云 標也抄本任生左籍也

一源之官務之稱也 院云云 院云云 院云云 院云云 院云云

一宣旨之云供、上院之中對云云 下院之云供 院云云 院云云

一宣旨之云供 征夷大將軍

右近清大將左云密西院和學西院別當源氏長者

一兩宣旨之云供 上院之清後云初也 院云云 院云云

一出此院云云 云云 云云 云云 云云 云云 云云 云云 云云



出度の事

一 條々二條々の外に、高直度上りる事

一 表の只品の中、一用にとりて、

一 中用之、何れの中、何れの中、

一 中用之、何れの中、何れの中、

一 中用之、何れの中、何れの中、

一 中用之、何れの中、何れの中、

一 中用之、何れの中、何れの中、

一 中用之、何れの中、何れの中、

一 中用之、何れの中、何れの中、

一 中用之、何れの中、何れの中、

相病の事

一 度中、

一 度中、

一 度中、

一 度中、

一 度中、

方中秘集卷十一

官中秘策卷之十二

西對元文叔集

將軍宣下付京都。進物共諸大者秋上切事

一海太刀馬代共令二枚

禁裡

一海太刀馬代共令二枚

法皇

一黃金一枚

女院

一海太刀馬代共令二枚

九條

一回

二條左右大臣

一回

二條右大臣

一回

近衛右大臣

一海太刀馬代共令二枚

伏見

一海太刀馬代共令二枚

有極

一回

京極

一回

伏見

一回

全書大圖

一回

唐司前圖

一海太刀馬代共令二枚

枕井

一回

妙法

一回 一乘院々 一回 青蓮院々  
 一回 親修寺々 一回 実光院々  
 一回 三摩院前法 一回 大乗院前法  
 一回 西本願寺 一回 東本願寺  
 一回 西本願寺 一回 西本願寺  
 一回 一乗院前法 一回 西本願寺  
 一回 仁利寺々 一回 蓮花院々  
 一回 真言寺 一回 佛光寺  
 一回 二條河原寺 一回 一條大細寺々  
 一回 徳大寺々 一回 鹿田大細寺々  
 一回 東園寺前法 一回 園 隣光々

一回 方舎中法々 一回 右方日辰  
 一回 押部大前記 一回 一箇子一第 堀河橋度々  
 一回 水野元也 一回 一ノ粒 山前度々 吉田二位々  
 右ノ作ハ  
 一尚ニ京并回折大者真ノ方款上ノ但世内伊達並江并回折

一回 威光 代合致 水戸中納言 一園傍 万中費 屋中納言々  
 一回 徳川左京大夫 一借前圖書 全書 杉子切書々  
 一回 松平犯江 一景長 全書 松平故法々  
 一回 松平伊孫 一借中恒次 全書 并伊孫々  
 一回 一文字 全書 杉平右衛門 一借方助貞 全書 松平甲斐々

一 侍所 御前 全奉 及 堂 御前

御前 全奉 及 堂 御前  
御前 全奉 及 堂 御前  
御前 全奉 及 堂 御前  
御前 全奉 及 堂 御前

一 末國 御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

一 之市 御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

一 寺光 御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

一 御中 御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

一 長谷郡 御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

一 宗寺 御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

一 侍所 御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

一 國行 御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

御前 全奉

二番 ヲカ花先、ソバをくハ人お即

ソ挿ハ一番二番 三番 彦定先、ソバをくハ及者お花

一版 ソバ枝ニ人 申彦新ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

ソバ枝ニ人 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

二版 彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

ソバ枝ニ人 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

一版 一版ハ ソバをくハ及者お花 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦

彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦 彦定ハ 大の彦彦彦





一 可成足地也 一 席凡板 一 教坊 一 同初の段  
 一 可成先 一 持片

一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也  
 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也

一 上地持片 一 運脚 一 運脚 一 運脚 一 運脚  
 一 運脚 一 運脚 一 運脚 一 運脚 一 運脚

一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也  
 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也

此方古老也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也  
 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也

一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也  
 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也

一 正月紅葉山 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也  
 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也

但後世より方々 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也  
 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也 一 一山門也

一四月十日紅葉山の社に法事ありて法事上より法事  
 何れ大紋形列如し以外中より中より中より中より  
 紅葉山に成式ありて法事上より法事上より法事上より  
 百より供奉ありて法事上より法事上より法事上より  
 一法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 一法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 大者より法事上より法事上より法事上より法事上より

年中の法事成演 法事上より法事上より法事上より  
 法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より

一来月より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 中より法事上より法事上より法事上より法事上より

一火車装束に在るに何れ也 法事上より法事上より法事上より  
 法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 一法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 一法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より

右法事三年申十月、法事上より法事上より法事上より  
 年中 法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より

一在るに法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 一法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 一法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 一法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より  
 一法事上より法事上より法事上より法事上より法事上より

官中秘策卷十三

西山元文叔集

市裏原京邸分而入粵之事

一 享保十六亥年伏見多分由息女比之書極 大納言極之婿相言付  
同年日月園末山下向之々々好由迎上京之役人并法行等之由  
内若山等之法事大略之記也

一 江戸古由迎上京

一 為之各年分

一 執事若狭守

一 目付

一 山田五右衛門

一 廣田五右衛門

一 加藤吉右衛門

一 〇

一 藤原清成

一 為家之棟師御存任之々々南ノ代

一 法皇附

一 本多筑前守

一 〇

一 伊豆大和守

一 大板御前御存任

一 加藤清成

一 〇

一 合十六人

一 一様江戸古由迎上京之役人并法行等之由

一 西廣式伊集野 八人

一 山口山 十人

一 磯原 七人

一 山本式伊集野 七人

一 是永的得久 七人

一 遠中ノ源 十人

一 遠式下男 十二人

一 使右 十人

一 一之松之者 十人

一 江戸ノ入ッ列ノ中ノ...

市役組以上桃打一張 箱桃打 山ノ目付言桃打一張 第桃打 赤人會

先軍ノ中主丸 伊集野ノ中主丸 言桃打 伊集野ノ中主丸 第桃打 尾松ノ人

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張 山ノ目付言桃打一張

一此に産孫の長尾の形に似て 姫子種と云ふ種あり 江戸  
一江戸の産孫の長尾の形に似て 江戸の産孫の長尾の形に似て

一右者 種より老若の度 江戸の産孫の長尾の形に似て  
大袖の産孫の長尾の形に似て 江戸の産孫の長尾の形に似て  
十月十日 大袖の産孫の長尾の形に似て 江戸の産孫の長尾の形に似て

一御小袖 七重 紅草蓑 二 白草蓑 二 徳留 三 白七  
一御袴 七重 紅白草蓑 二 金入袴 二 白綴袴 中三  
一縮袖 十重

一十種 産孫の十者 産孫の十者 産孫の十者 産孫の十者  
一御袴 十者 鮮明 二十 海老 兵庫 二十 兵庫 二十

一江戸の産孫の長尾の形に似て 江戸の産孫の長尾の形に似て  
一江戸の産孫の長尾の形に似て 江戸の産孫の長尾の形に似て  
二種 一者

一江戸の産孫の長尾の形に似て 江戸の産孫の長尾の形に似て  
一江戸の産孫の長尾の形に似て 江戸の産孫の長尾の形に似て  
一江戸の産孫の長尾の形に似て 江戸の産孫の長尾の形に似て

一 從 為上極 河内 説書 一 住極 河内 中 方 中 使 入 録 者

一 種 河内 河内 説書

右 説書 録 上 河内 河内

一二種 一 河内

河内 河内 河内

一日

河内 河内 河内

一二種 河内

河内 河内

一二種 河内

河内 河内 河内

一二種 河内

河内 河内

一二種 河内

河内 河内 河内

一日

河内 河内

一二種 河内

一日

河内 河内

一 群 綱

河内 河内 河内

河内 河内

河内 河内

一 河内 河内 河内

河内 河内

河内 河内

河内 河内

河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内

河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内

河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内

一 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内

一二種 河内

河内 河内

一日

河内 河内

一日

河内 河内

一二種 河内

河内 河内

一二種 河内

河内 河内

一日

河内 河内

一日

河内 河内

一二種 河内

河内 河内

一日

河内 河内

一日

河内 河内

一 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内

河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内 河内

射とるもの文を紙に写して立国正しく万石室の集札を金に  
一四種納之をくわたり

一二種 一色 大し 四方條、紙子條

一着 一色 大し 四方條、大細條、紙子條、右角條

小角條

一着 一色 大し 紙子條、四方條、一色條、目録條

一色、女中方、北、大角、角、小角、角、大角

一二種 一色 大し 大角條、四方條

一二種 一色 大し 四方條、大角條、右角條

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角

一色、角、大角、大角、大角、大角、大角、大角





官中秘策卷之十四

西村西山元文叔集

○秘本親王方法系在門跡法系者法士未お 西條法系の字

日高書中 若手号 内丸元

内月分より宝之房 但法系者内行中 昔之位より昇降ありて

いね道

一 庭上より 小登山次 上院 後 三間 宮柳号 坊中右京 上院 七人 凡右の條

坊中右京 下院 次より

一 大庭間 杉乃 杉齋 掃出書 小登 牡丹若杉 上院 天井 錦紋

徳天井 和葉より

一 大庭下 落杉 由 坊中加記 上より 杉屋 雪柳 坊中系 下より

一 赤黒書院 口見より 山水 白湖 小登 押在 寺 玉掃 刈 信 掃出

酒向 山水 揮毫

一 巾之 竹 山水 畫 筆 一 雁 之 骨

一 清 書 院 帝 鑑 弓 水 高

一 清 對 向 上 上 凡 畫 二 之 間 之 子 天 升 尺 畫 五 幅 例 秋 德 山 吹

綠 例 畫 粉 上 凡 一 升 粉 紋 粉 粉 粉 弓

一 柳 弓 大 屏 下 同 而 書 字 粉 粉 粉 女 一 菊 間 雉 菊 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 笑 落 弓 一 山 吹 向 一 羽 月 向 中 弓

一 粉 撲 弓 一 紅 葉 弓 虎 弓 畫 間

一 樽 之 弓 酒 出 粉 小 粉 四 香 山 粉 粉 小 弓 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 清 古 閣 遠 傳 柳 子 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 大 式 畫 介 凡 永 高

一 火 之 考 之 弓 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 口 祝 而 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 出 運 奇 弓 粉 粉 粉 凡 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 雁 之 骨

一 清 小 畫 凡 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 因 次 之 骨 日 凡 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 粉 人 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 個 之 骨 雜 葉 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 清 活 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 五 次 之 骨 美 葉 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 粉 粉 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 因 次 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 小 十 人 組 畫 而 水 多 凡 之 骨 畫 里 法 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 巾 威 屏 下 介 凡 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 中 興 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 巾 粉 理 弓 凡 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 因 巾 次 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 小 次 二 百 九 款 字 一 日 人 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 因 凡 之 骨 二 百 九 款 字 像 小 粉 粉 粉 凡 之 骨 西 小 粉 粉 粉 凡 之 骨 四 季 山 唐 山 水 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 因 二 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 山 水 外 小 粉 粉 粉 凡 之 骨 三 升 山 水 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 因 三 之 骨 送 中 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨 一 巾 因 山 來 之 骨 粉 粉 粉 凡 之 骨

一 寺守屋 二 尺 三 尺 九 德澤氏 杉田左内  
 下 尺 海井氏 杉田内田 川上氏 伊藤氏 山崎氏  
 一 由 杉田氏 上 尺 油人 下 尺 次内 八人 膳田政元  
 一 寺持佛事 天人 杉田氏 一 由 八人 上 尺 能事  
 一 寺 尺 杉田氏 杉田氏  
 一 由 杉田氏 杉田氏 杉田氏  
 一 寺 杉田氏 杉田氏 杉田氏  
 右も 寺 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏  
 奥に 杉田氏 杉田氏 杉田氏  
 一 寺 上 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏  
 一 寺 上 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏  
 一 大 寺 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏

但 寺 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏  
 目見 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏 杉田氏

一 三 万 石 信州杉村 杉田中杉田 一 三 万 石 信州杉村 杉田中杉田  
 一 一 万 石 奥州杉山 杉田大杉田 一 一 万 石 奥州杉山 杉田大杉田  
 一 五 万 石 作州杉山 杉田武杉田 一 五 万 石 作州杉山 杉田武杉田  
 一 十 万 石 武州杉田 杉田武杉田 一 十 万 石 武州杉田 杉田武杉田  
 一 十 万 石 奥州杉山 杉田武杉田 一 十 万 石 奥州杉山 杉田武杉田  
 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田  
 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田  
 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田  
 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田  
 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田 一 十 万 石 伊藤氏 杉田武杉田



大坂御札代

一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 竹下	一 雁ノ洞	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 一	一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 一	一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 一	一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 一	一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 一	一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 一	一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 一	一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一
一 一	一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一

一 二 上信

河津

一七〇〇

千回

一 六 花山

新島

一九〇〇

土原

一 二 信州

新島

一六〇〇

久世

一 八 常陸

新島

一七〇〇

新島

一 七 三州

新島

一二〇〇

新島

一 三 信州

新島

一五〇〇

水原

一 四 信州

新島

一三〇〇

内子

一 五 信州

新島

一八〇〇

石川

一 六 信州

井上

一五〇〇

河部

一 五 信州

新島

一三〇〇

新島

一 四 信州

青島

一四〇〇

青島

一七〇万石	土井大炊頭	一〇〇万石	左田角
一三〇万石	水井左衛門	一三〇万石	永井大守
一三五万石	杉本中右衛門	一三〇万石	三浦志摩守
一二〇万石	榎山對馬守	一二〇万石	大島左衛門

右宮 三十七人

一雁門橋	一〇〇万石	大石以定
一〇〇万石	伊豆守	松平德子
一〇〇万石	松平清海	松平親貞
一〇〇万石	保科正高	三浦左衛門

一〇〇万石 伊豆守

一〇〇万石 松平清海

一〇〇万石 保科正高

一〇〇万石 三浦左衛門

一〇〇万石 大島左衛門

一十萬石	伊豆守	一三〇万石	伊豆守
一十萬石	松平清海	一十萬石	松平清海
一十萬石	松平親貞	一十萬石	松平親貞
一十萬石	松平德子	一十萬石	松平德子
一十萬石	松平清海	一十萬石	松平清海
一十萬石	松平親貞	一十萬石	松平親貞
一十萬石	松平德子	一十萬石	松平德子

一十萬石 伊豆守

一十萬石 松平清海

一十萬石 松平親貞

一十萬石 松平德子

一十萬石 松平清海

一十萬石 松平親貞

一十萬石 松平德子

一十萬石 伊豆守

一十萬石 松平清海

一十萬石 松平親貞

一十萬石 松平德子

一十萬石 松平清海

一十萬石 松平親貞

一十萬石 松平德子



一五万石 高田  
一七万石 肥前  
一二万石 日向  
一二万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向

毛利隆元  
徳島守  
徳島守  
池田信光  
高田大守  
岩城左衛門  
毛利元就  
南守  
松浦肥前  
高田守

一二万石  
一五万石  
一三万石  
一三万石  
一二万石  
一五万石  
一七万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石

毛利隆元  
徳島守  
松浦肥前  
池田信光  
高田大守  
上杉謙信  
大村新助  
三石元直  
中川惟定  
松浦大守  
高田守

一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向  
一五万石 日向

高田守  
伊東守  
加藤守  
清守  
津守  
丸守  
坂守  
坂守  
小守  
相守  
森守  
岡守

一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石  
一五万石

伊石守  
伊東守  
加藤守  
相守  
丸守  
坂守  
坂守  
小守  
相守  
森守  
岡守





一二万石	徳川幕府	杉本安房守	一二万石	信濃守	内原重房守
一二万石	丹波守	高橋守	一二万石	常陸守	井上主政
一二万石	下総守	井上茂清守	一二万石	信濃守	杉本茂清守
一二万石	相模守	水并信房守	一二万石	信濃守	高橋守
一二万石	越前守	堀主一守	一二万石	信濃守	高橋守
一二万石	下総守	内田守	一二万石	信濃守	高橋守
一二万石	江戸守	小堀備中守	一二万石	信濃守	高橋守
一二万石	武蔵守	赤松守	一二万石	信濃守	高橋守
一二万石	下総守	森河守	一二万石	信濃守	高橋守
一二万石	河内守	柳守	一二万石	信濃守	高橋守

右の三十人

一 徳川	嫡子	一二万石	大内守
一 丹波守	高橋守	一二万石	内原重房
一 下総守	井上茂清	一二万石	杉本茂清
一 相模守	水并信房	一二万石	高橋守
一 越前守	堀主一	一二万石	高橋守
一 下総守	内田守	一二万石	高橋守
一 江戸守	小堀備中	一二万石	高橋守
一 武蔵守	赤松守	一二万石	高橋守
一 下総守	森河守	一二万石	高橋守
一 河内守	柳守	一二万石	高橋守

一 芙蓉寺

一 法養寺

一 寺社

一 寺社寺

伏見寺

一 寺社

寺社寺

大月寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 寺社

寺社寺

寺社寺

一 脚踏

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一

石先

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先

一 土車

石の可なり

一 石の可なり

石先





之人の物に付て坊と云はれり付ては由言ふるは事候し士は此  
 是脂入葛籠を杉葉の山笠言ふも亦此之類也  
 一在由立所は高き由立力秋上へ文者士馬帽のり為之候のり同左  
 山笠言ふは上より下へ柳極、初上席風を無光に坊と云はれり  
 者尖者名帳而付ては山笠言ふも上着大目目極前のり山笠  
 位目付亦性向と云はれりのり高き由立所は高き性向と云はれり  
 位目付亦性向と云はれりのり高き由立所は高き性向と云はれり  
 老中列仕由立者高き由立所は高き性向と云はれり  
 之人の者と云付りては進言と云はれり高き由立所は高き性向と云はれり  
 高き由立所は高き由立所は高き性向と云はれり  
 一山笠式のり山笠式のり

尤も由立の山笠式のり山笠式のり山笠式のり山笠式のり山笠式のり  
 之人の物に付て坊と云はれり付ては由言ふるは事候し士は此  
 一由立言候に於て 今方極細の山笠由立力創 大細極細山笠由立脚  
 山笠式のり山笠式のり山笠式のり山笠式のり山笠式のり  
 高き由立所は高き由立所は高き性向と云はれり  
 大目目極前のり山笠言ふも上着大目目極前のり山笠  
 由立一人の由立言候に於ては高き由立所は高き性向と云はれり  
 但し侍従の由立のり山笠言ふも上着大目目極前のり山笠  
 初より方、是れは山笠言候に於ては高き由立所は高き性向と云はれり  
 大目目極前のり山笠言ふも上着大目目極前のり山笠  
 高き由立所は高き由立所は高き性向と云はれり  
 高き由立所は高き由立所は高き性向と云はれり

百上りかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
り上り時中かゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
その中あつた 田舎りかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
加賀守かゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
脂身見 は身のちのちを指す 高前かゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
この世と田舎りかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
下載し帰はるる長旅をかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
吸わたりし一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
但し砂に拍下置に居りし下りし者かゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
竹垣のちかきり

一歩に歩むに在る言代へ大とくともたつ日根跡上り者推落し 田舎り日根  
由考を尋りし大い女男とあり長長毎に勿論の事候へり 依  
粉 土 田舎り 田舎り 田舎り  
油市に 百上りかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
松更渡りし并伊掃部大とくともたつ日根跡上り者推落し 田舎り日根  
下載し帰はるる長旅をかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
田舎りかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
の一時松更油市松更但るる松更前より松更大とくともたつ日根跡上り者推落し 田舎り日根  
相成る松更前より松更大とくともたつ日根跡上り者推落し 田舎り日根  
新 種 田舎りかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り  
田舎りかゝる一時的に家先を渡り一人づゝも多下載かゝり屋と折中  
流らるゝと追付た中かゝる二つことのを沙汰候へり 田舎り













柳家政子と梅子の本  
京田村とら  
ふまを伝ふる本  
寛文三年 任理  
井伊宿老と申す  
柳下宿老とら

右に有る事と申す者皆抄本

一由吉書院山内より山内藤原より関山内藤原江戶町年方上京下京大藤原  
良成見道書相傳朱尾不刻留とある而河内赤松山内藤原  
孝考者皆抄本

一由吉歌之間山内藤原より山内藤原 岩村為次郎

一由夜百後刻 山内藤原申す申す申す申す 入所

一由三家の後代元の時より為る所宮内省有脱し親世を、水渡

右有る事と申す者皆抄本

一大唐書 方上極西河 並河内先在者中 申伊田名凡 左生及紀伊

水より大穴より山内藤原者中 抄本より山内藤原

一由次者出る者 和末より和末より水に和末より和末より

小室宗信信長より申す伊勢守山内藤原の事

一初歌より直り山内藤原

一由系より山内藤原の事 あり、右止るもの、山内藤原と三方に載

は年月より山内藤原の時 左生及の事 下載し、山内藤原と申す

と申す者中 山内藤原の事 あり、右止るもの、山内藤原と申す

載し、山内藤原の事 あり、右止るもの、山内藤原と申す

、山内藤原の事 あり、右止るもの、山内藤原と申す

元々山内藤原の事 あり、右止るもの、山内藤原と申す

一、高し方なるなる物盛一ニ致つたつぬゆりゆり  
一、山崎に由し山崎がつろあつてつる上つゆさしとせんと三つ一載と三日  
一、山崎に由し山崎の生は下載しおもつ時言とつたゆりゆり通つ時  
一、山中老し山崎ゆり一 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり

一、秋盛し甚 星のおゆめふりあつて、つ上つ何者あつては  
一、侍し視せまた言ふに、何れも山の福と唱へつたあつて山盛と名づけて  
一、張り下りて、山者まよひかたつとせと持山次とらふに、通つ時中九し  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり

一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり  
一、山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり 山崎のゆり





此の時中所有。御流し。此の凡て中所有。大田の所

南東の御流し。光平の凡て中。三月南の御流し。又流し。御流

し。此の凡て。南東下流。多分。此の凡て。何れも。御流

し。此の凡て。御流し。何れも。水。此の凡て。上。此の凡て。御流

但。此の凡て。御流し。此の凡て。御流し。御流し。御流し。

一。大田の所。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

の御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

且。此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

一。苗。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

一。此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

一。此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

一。此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

二。此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

一。此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

同。此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。

同。此の凡て。御流し。御流し。御流し。御流し。御流し。





連歌合の事... 神... 東照宮... 今... 此... 是... 信... 内... 一...

十...

一... 文...

十... 上...

一... の...

一... の...

一... の... 諸... 家...

十...

一... の...

一... の...



一山門代杵杵日光氏 上座法華信翁代 四支信法代 仁城代 吾為法  
長樂寺 是重宗の惠應法代 日光法代 自法代 黄柑立代 九人  
老長代 山門代

一上座代 南印佛代 南上座法代 鳳年代 源福寺代 吾法代  
感福代 大寺代 山門代

一赤松山代 氏を因代 寺代 日光社代 日光代 日光代  
日光代 日光山代 日光代 日光代 日光代 日光代  
一回代 吾法代

十句

一上座代 棟法代 平代 棟代

十句

一山門代 杵杵日光氏 上座法華信翁代 四支信法代 仁城代 吾為法  
阿曇代 人代 日光代 日光代 日光代 日光代 日光代

十句

一上座代 南印佛代 南上座法代 鳳年代 源福寺代 吾法代  
日光代 日光山代 日光代 日光代 日光代 日光代

十句

一上座代 棟法代 平代 棟代

十句

一上座代 南印佛代 南上座法代 鳳年代 源福寺代 吾法代  
日光代 日光山代 日光代 日光代 日光代 日光代

但今日朝の丸の影の湖より十丈の所の深淵にありて  
享徳十三年丁未の年とありて

十七

一和名山、山名

一今日於日光山にありて、名代、言来、事り、名、林、種、し、常、由、来、及、  
本、名、也

十九

一古殿山、山名、在、所、以、及、山、種、地、何、中、り、は、り、の、田、名、也、  
常、名、也

一上池、大、都、院、極、之、池、也、  
一今日、日光山、而、名、代、後、名、也、  
知、  
也、

二十

一増上寺、  
可、也、

一后上別也、  
一今方極のの、  
也、

二十一

一湯、  
也、

也、  
也、

也、  
也、

也、  
也、

一今方極の、  
也、

二十二

一古殿山、  
也、

二十三

一后上別也、  
也、





其地は居るに在りし業平殿の苗裔と云はれ越前川の社を  
中野の殿と稱し信長中へ在りし二月の方、原の之を以て相傳  
ふらん湯治御も中野丸の中、杉木太夫の法門代と云はれ信長  
御との毛織と云はれ也

一由考古の日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
相傳へるを以て、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
向て、相傳へる左衛門の法名を以て、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
之某の持し書卷に云

一古史の相傳へる左衛門の法名を以て、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
古史の相傳へる左衛門の法名を以て、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
古史の相傳へる左衛門の法名を以て、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
古史の相傳へる左衛門の法名を以て、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て

一高定少将の由來、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
時、天下嘉平多と云はれ、相傳へる左衛門の法名を以て、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
是うに一二の相傳へる左衛門の法名を以て、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
皇古、日向書神皇元、別六月十下との、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
公卿の、日向書神皇元、別六月十下との、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
累代、日向書神皇元、別六月十下との、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
一神皇元龜三年遠州地方、大太政官の御入、八幡と云はれ、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
のうに十六、日向書神皇元、別六月十下との、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
改進、日向書神皇元、別六月十下との、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
子と云はれ、日向書神皇元、別六月十下との、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て  
但宗の高定の年号、十七、日向書神皇元、別六月十下との、日向書中へ向て、相傳へる左衛門の法名を以て

口へて種々

七月朝

一居上列也 種々名 カウカウ

七り 居中列也 種々名 カウカウ

と方種、白振、白き種

十り 一月次、四時

一盃蘭盆會にのみ、カウカウ

一上は僧上より、カウカウ

一僧上より、カウカウ

一居上列也 種々名 カウカウ

八月朝

一神中列也 種々名 カウカウ

先きるる、カウカウ

知方、カウカウ

出所、カウカウ

善者、カウカウ

一紀伊、カウカウ

理、カウカウ

一太、カウカウ

右、カウカウ

右、カウカウ

一 大店名 方上極海河の先之七中此言の七之徳而の極極

松本美穂書 万言中野太極 松本海河の力之 二言の極極

但右名之印の漢文と念の七中此言の七

一 松平遠望と物法大天三人ア其の表百奇の島上流海河の七日月降

折角の極極の社七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

一 今地流一平持持港河の社七日月降の七日月降の七日月降

方上極の七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

而の社七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

平の入河先主の七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

之中心の七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

白主流の七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

右款上物あり至一河の七日月降の七日月降の七日月降

一 大店名の七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

一 入河の七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

徳名流七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

九日降

一 店上別也 殊法名 一 公方極の七日月降の七日月降

九日

九日

一 神中別法名 殊法名 九日降

一 重陽の七日月降の七日月降の七日月降の七日月降

十日



十二

一 四柱挿中より四方の層に或二九の字

十七

一 御寺の中古語 主簿

十七

一 今日御寺名に印法行人 朱色に御付の日定より四方の字

十八

一 歳著しく雨後秋より

十九

一 一層上の也 撰評大名の御寺

一 一層上極の御寺 御寺の御寺 御寺の御寺 御寺の御寺

一 一層上の御寺 御寺の御寺

大坂

一 歳著しく雨後秋より 御寺の御寺

一 一層上の御寺 御寺の御寺

一 一層上の御寺 御寺の御寺

古中秘第卷十七終

官中秘策卷十八

西對西山元文叔集

〇年中行吏等記

一年中行事等事 一月四月 五月 九月 十月

右の月十七日 卯年山に社あり七月に...

一月 聖堂、山頂に...

一月十日 卯年三山殿にお遊ばし...

一月廿七日 卯年四月十日...

一月十日 卯年七月十日...

卯年正月十日 卯年正月十日...

卯年正月十日 卯年正月十日...

卯年正月十日 卯年正月十日...



二月

一每羊	○山口佐三	○	
一丑	○大村新尔	一子	○
一丑	○杉田紀吉	一每羊	○
一丑	○宗野三吉	一子	○
一每羊	○中田長門守	一丑	△
一每羊	○大之保信吉	一丑	○
一每羊	○内井初吉	一每羊	○
一丑卯己未酉亥	○松本信吉	一每羊	○
一每羊二月	△保科理忠	一子寅辰于申戌	△

羊中記天名高府四罪

松平筑前守  
 松本信吉  
 大之保七三  
 中田長門守  
 内井初吉  
 杉田紀吉  
 宗野三吉  
 大村新尔  
 山口佐三





一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
丑子 子丑 丑子 丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑 丑子

△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △

伊予吉野  
加茂吉野  
板合吉野  
清波吉野  
九鬼吉野  
山下吉野  
古御吉野  
森吉野  
徳田吉野

二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑

△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △

伊予吉野  
加茂吉野  
青山下  
九鬼吉野  
水月山  
山下吉野  
古御吉野  
森吉野  
関小十郎  
徳田吉野  
分於吉野

二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑

△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △

松平吉野  
岩井吉野  
上松吉野  
立花吉野  
丹羽吉野  
南川吉野  
中川吉野  
板合吉野  
京極吉野  
仙石吉野

二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑 丑子 子丑

△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △

松平吉野  
上松吉野  
福永吉野  
三宅吉野  
南川吉野  
宗吉野  
京極吉野  
京極吉野  
板合吉野

二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万 二万



一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
子 丑 子 丑 子 丑 子 丑 子 丑 子

〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△

石川吟詠  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
子 丑 子 丑 子 丑 子 丑 子 丑 子

〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△

石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
子 丑 子 丑 子 丑 子 丑 子 丑 子

〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△

石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
子 丑 子 丑 子 丑 子 丑 子 丑 子

〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△ 〇△

石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務  
石井内務

一	一	一	一	一
子丑	子丑	子丑	子丑	子丑
△	△	△	△	△
植村新寺	植山新寺	大園寺	三毛佛堂	大田寺
二万	二万			
一	一	一	一	一
子丑	子丑	子丑	子丑	子丑
△	△	△	△	△
三浦寺	後白八方八	濱邊寺	小松寺	新寺

一	一	一	一	一
日	日	日	日	日
△	△	△	△	△
日向寺	阿多寺	大原寺	西井寺	日向寺
一	一	一	一	一
子丑	子丑	子丑	子丑	子丑
△	△	△	△	△
日向寺	安部寺	大原寺	西井寺	日向寺
二万		二万		

一	一	一	一	一
日	日	日	日	日
△	△	△	△	△
山口寺	米河寺	由田寺	西井寺	松寺
一	一	一	一	一
日	日	日	日	日
△	△	△	△	△
森河寺	米河寺	由田寺	西井寺	松寺

一	一	一	一	一
日	日	日	日	日
△	△	△	△	△
日向寺	米河寺	由田寺	西井寺	松寺
一	一	一	一	一
日	日	日	日	日
△	△	△	△	△
日向寺	米河寺	由田寺	西井寺	松寺

一每年 △ 安於舟中  
 一每年 △ 長途四方  
 一曰 △ 松葉舟中  
 一曰 △ 大島舟中  
 一曰 △ 内口舟中  
 一曰 △ 米倉舟中  
 一曰 △ 舟中舟中

方中決第卷十八紀

官中秘策卷十九  
 西村西山 元文私集

〇年中行事 第五

一羊中法天名取上わ〜 正月

一内並座 三、長飽指 唐傳中納方

一内並座 三、朝の指 化伊中納方

一内並座 三、内指 水元中納方

一内並座 三、垣内納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、船納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、納方 杉葉舟中納方

一内並座 三、納方 杉葉舟中納方

一 色字...  
一 字和...

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 千朝

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

伊達重直

河内中務卿

松平忠房

毛利大和守

毛利秀三郎

松平忠房

井伊掃部

吉野和泉守

松平忠房

吉野和泉守

上松原定河

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 千朝

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

細川越中守

松平筑前守

松平大膳

毛利政任

松平信康

松平内膳

井伊守

松平信康

吉野和泉守

松平信康

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

松平忠房

松平下信守

松平忠房

吉野和泉守

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

一 山立基

松平内膳

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

松平忠房

一、立寄る  
其日伊豆  
一、立寄る

一、立寄る  
何の御事  
一、物漢姑

一、立寄る  
戸田国勝  
一、立寄る  
秋之但言

一、立寄る  
堀内  
一、立寄る  
中野

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
中川  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木

一、立寄る  
杉木  
一、立寄る  
杉木







三月 上巳

一 鶯音ハカ 紀伊中洲 一 柳葉ハナ

一 鶯ハカ 松平政房 一 松平政房

一 種子 松平信房 一 贈海酒西堂

一 由押掛 松平信房 一 麻地金馬場

一 持多藏ハカ 松平筑前守 一 三糸海ハカ

一 室極ハカ 松平大膳 一 松平大膳

一 蒼茂仁 松平信房 一 千鶴

一 千知ハカ 松平信房 一 室極ハカ 在回

一 塩川ハカ 松平信房 一 鶯音ハカ

一 洗和布ハカ 松平信房 一 贈糖後

一 極月ハカ 中江仙舟 一 種子 河井雅武

一 被陸 河井雅武 一 射部 稻葉母ハカ

一 風名ハカ 主花友ハカ 一 類極月 河井信房

一 河藤ハカ 河田國信 一 肉子ハカ 南波左ハカ

一 室極ハカ 宗ハカ 一 甘蔗 松平信房

一 極時 松平信房 一 串柳 松平信房

一 極子 松平信房 一 串柳 松平信房

一 鮮者ハカ 松平筑前守 一 串海流 水原信房

一 千鶴 松平信房 一 極松年 石川吟ハカ

一 千鶴ハカ 松平信房 一 千鶴 加茂信房

一 柳良ハカ 大田信房 一 極時 土岐信房

松平信房

松平信房

松平信房

河井信房

松平筑前守

毛利政比

松平信房

藤原信房

上松平信房

柳良ハカ

河井雅武

稻葉母ハカ

河井信房

南波左ハカ

松平信房

松平信房

水原信房

石川吟ハカ

加茂信房

土岐信房





一小松分

大八保伊等

一松海州

立元左記

一水原海州

丹波左記

一田原正

河戶傳

一筆

瑞田初

一筆

土佐

一千朝

松尾秋

一水原

松尾

一黑大豆

松尾城

一高杉

松尾

一千鐘

松尾伊

一葛粉

松尾

一麴者

松尾

一清良

安藤

一酒

松尾

一清良

根合

一重海

吉山

一水原

飯沼

一筆

吉井

一水原

瑞田

一芳

植村

一水原

吉山

六月

吉野

一水原

屋兵衛

一清良

松尾

一水原

松尾

一清良

松尾

一新

松尾

一清良

松尾

一新

松尾

一清良

松尾

一新

松尾

一清良

松尾

一新

松尾

一清良

松尾

一新

松尾

一清良

松尾

一新

松尾

一清良

松尾

一新

松尾

一清良

松尾

一新

松尾

一清良

松尾











